

No 151
2009.12

ひろお

議会だより

光の祭典「クリスマスツリー点灯式」

 ontents

一般質問の答へ方 5
新任の町会 町長選挙結果の振り返り 8
議会日程 8

○発行・編集 / 広尾町議会・議会広報特別委員会 E-mail: gkai@town.hiroo.lg.jp
〒089-2692 北海道広尾郡広尾町西4条7丁目 TEL 01558-2-0160 (議会直通) FAX 01558-2-4903

平成21年 第3回定例会

ズバリ
町政を問う

い
っ
ぱ
ん
質
問

Q 町立病院前にバス停の設置を

A 民間バス会社に要望

Q 小田英勝議員

高齢者が通院に利用できないよう町立病院への民間路線バス乗り入れについて住民要望がある。

現在、町は週2回、無料送迎バスを運行しているが、運

行日以外の通院や南十勝でも

一番充実しているリハビリ科

に、毎日でも通院する場合に、

一番近いバス停から病院までの距離は、高齢者にはつらい。

通院に民間バスが利用できれば、家族の負担軽減にもなる。

町立病院前にバス停の設置が図られるよう、バス会社と協議してほしい。

最近、道内自治体でも導入が進むコミュニティバスについても検討できないか。

A 村瀬町長

JRバスは、えりも町から広尾町及び帯広方面へ向かうアクセス路線として運行している。十勝バスは、旧国鉄広尾線の沿線6市町村でバス輸

送確保対策協議会を設置し、

鉄道廃止後の代替輸送路線として維持に努めているので、関係市町村の路線変更等の理解も必要だ。

また、町立病院周辺は、救急搬送、周辺施設への出入りなど、車両や通行者も多く、運行には十分注意するとともに

に、停車帯などの整備も必要となる。いずれにしても、両バス会社に要望したい。

コミュニティバスは、運行形態、委託内容など、地元事業者との競合や経営の圧迫なども懸念されるため、総合的に検討したい。

Q 生涯学習センターの早期建設を

A 次期まちづくり計画で検討、判断

Q 前崎 茂議員

昭和41年に建設の児童福祉会館は、すでに築43年が経過した。老朽化とともに駐車場も狭く、また、ホールが2階で高齢者には利用しづらい。23年度から始まる第5次まちづくり推進総合計画の住民意識調査でも、生涯学習センターを望む声が多い。

今日まで当該施設の建設計画があったが、財源確保が困

難との理由で先送りされてきた。

新計画策定にあたり、財源を確保したうえで住民要望の多い生涯学習センターを建設すべきと思うが。

A 村瀬町長

活動拠点として、生涯学習センターの必要性は深く理解している。児童福祉会館は、高齢者や



バス会社と設置協議（病院前バス停）

障害者に不便をかけていることもあり、住民意識調査でも新設の要望がある。しかし、団体意向調査や懇談会では、財政を考慮して既存施設を再整備するなどの意見もある。

施設整備については、まちづくり推進計画委員会で協議しているが、財政面で厳しい状況にある。住民要望を参考に、総合的な観点から、第5次まちづくり推進総合計画で総合的に判断したい。



老朽化が進む児童福祉会館

Q 高齢者等に温泉入浴料支援を

A 総合的な高齢者支援を検討

Q前崎 茂議員

中札内村では今年8月から、村内在住の高齢者、障害者が更別村の温泉施設を利用する場合に利用料の半額助成を始めた。

また、大樹町では、町内在住の高齢者を対象に町内温泉入浴料500円を300円に、また、更別村でも入浴料400円を高齢者は100円とする支援事業を実施している。本町も、大樹町や幕別町忠類の温泉施設を利用する町内

在住の高齢者等に対し、入浴料の助成をすべきと思うがどうか。

A村瀬町長

町では、敬老祝い金制度をはじめ高齢者福祉に努めている。また、社会福祉協議会と連携しながら、ひとり暮らしや障害者を持つ高齢者サービスの充実も図っている。

老人クラブや町内会単位に、年1回ではあるが、町有バスの提供により近隣の温泉にも

出かけられるよう多面的な支援も実施している。

今後、高齢者の扶助費増加

も見込まれるが、総合的な支援策を判断し、高齢者福祉対策に務める。

Q 介護認定方式の

変更による影響は

A 制度の抜本的な見直しが必要

Q旗手恵子議員

4月からの要介護認定の新制度は、軽度判定されると批判があるが、本町での認定結果はどうか。

経過措置は、新規・区分変更の申請者には適用されていないことから、不公平が生じているのではないか。

厚生労働省は、世論の批判を受け10月から見直した調査基準での認定を開始するというが、その内容はどうか。必要な介護を安心して受けられる制度とするのが町民の願い。制度の抜本の見直しが必要ではないか。

A村瀬町長

新制度での認定結果は、1次判定で前回と同じ判定が37件、前回より重くなったのは18件、前回より軽くなったのは

49件。その後の2次判定で、介護度が低く判定され、経過措置により前回と同じ判定に戻った方は16件、前回より軽度でよいとされた方が6件となった。

経過措置は、申請に基づき、前回と同じ介護度に戻し、今までと同等の介護サービスが受けられるもので、8月までに32件の申請があったが、前歴がないために経過措置が適用されず、新制度では不公平が生じると認識している。

10月からの改正で判定が軽度になっているものなどが、解決されると思っている。介護保険制度は、安心して自分が必要と思う介護を受けられるよう、抜本的な見直しが必要と考える。

Q 季節労働者対策の強化を

A 国に強く要請する

Q 旗手恵子議員

雇用・失業情勢は一段と厳しい状況にある。
厚生労働省は、2007年度から通年雇用促進支援事業

などを実施しているが、予算規模が小さく、労働者の所得保障は認めないなど有効な対策ではない。本町での効果は具体的にどうか。

今春、季節労働者対策として明きよの雑木処理を実施したが、この冬や来春の対策は検討しているのか。

A 村瀬町長

19年10月に帯広・南十勝通年雇用促進協議会を設立し、国の委託事業を主に季節労働者の就労支援を行っている。成果として、通年雇用は57人と報告を受けている。うち広尾町で大型自動車運転免許取得により1人が通年雇用となった。

不況に起因する雇用不安は、依然払拭されず、厳しい経済状況での雇用の確保について、国への要請を引き続き行う。冬期間での町単独事業の実施に向け、今の財政状況と冬期間の作業効率の低さなどを勘案し、検討する。

Q 保育料の無料化拡大を

A 財政状況を見きわめ検討

Q 旗手恵子議員

今年4月から保育所に3人以上通っているとき、第3子からの保育料は無料になった。これは、子育て支援として有効な施策と思う。

しかし、上の子が小学校、中学校、高校に通っていて第3子が保育所という家庭もある。有効な子育て支援というなら、対象年齢を広げ、3人目以降であれば無料とすべきでないか。小学校卒業まで対象を広げるには、390万円の予算があれば可能という。新年度に向け検討すべきでないか。

A 村瀬町長

4月に国の改正に合わせて、第3子以降の保育料を無料とする改正を行った。国の基準では、同一世帯から2人以上、就学前児童が入所した場合と定められており、町も国の基準に準じて改正した。
無料化の年齢の拡大については、保護者とともに、児童

を心身とも健やかに育成する責任の観点から、少しでも子供を産み育てやすい環境を整えていく必要がある。
現在、自主・自立推進プランの見直しを進めており、無料化の拡大が可能か、総合的に検討し、判断したい。



町単独事業（明きよ排水雑木処理）



さまざまな環境整備が求められる町立保育所

Q 通学時の児童生徒の 安全性はどうか

A 家庭と連携し学校指導を実践

Q 小田雅二議員

教育に関する事務の管理と執行の状況の評価についての報告が義務づけられたことは行政の公開制、透明性の点から評価する。

今年に入って、中札内村や黄金道路で痛ましい死亡交通事故が発生した。

教育委員会として、児童生徒の登下校時の安全性の確保に最大限の努力が求められる。また小学校の統合で通学経路も変わることから、その対策が必要となる。合わせて「子ども110番の家」についても状況を聞く。

A 山下教育長

交通安全については、道徳やホームルーム、教科における指導をはじめ、交通安全教室での交通ルールの理解と遵守、特に自転車の交通マナーや点検について指導している。学校での指導が正しく実践されるよう、家庭との連携にも

努めている。

スクールバスを利用する児童生徒には、定期的に教職員を同乗させ、シートベルトの着用、乗車マナーの指導も行っている。

23年3月末をめぐりに、広尾小と第二小を統合することとしており、通学方法の一つとして、民間路線バスの活用も視野に入れている。

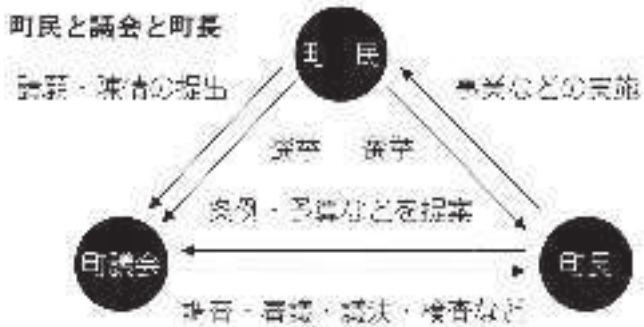
「子ども110番の家」は、今後も継続したいと考えている。



今後も継続「子ども110番の家」

ミニ知識

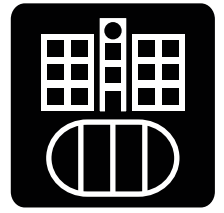
「議会とは」



町議会は、議決権、調査権、監査請求権など多くの権限を持っています。これらの権限に基づき町議会は次のような仕事をしています。

- 議決 町議会の最も基本的な仕事です。条例や予算等重要な問題について審議・調査・決定をします。
- 選挙 議長、副議長を初め選挙管理委員などの選挙をします。
- 同意 副町長、監査委員などを町長が選任する場合には、議会の同意が必要です。
- 検査・監査請求 町の事務等について検査をしたり、監査委員に監査の請求ができます。
- 調査 町の事務などについて調査でき、必要に応じて出頭や証言、記録の提出を請求します。
- 意見書の提出 町の公益にかかわる事柄について、国や道などの関係行政機関に意見書を提出します。

総務常任委員会



所管事務調査の経過と結果

町立図書館の運営状況について

開催日 平成21年7月16日

町立図書館を視察後、20年度の図書館利用状況及び21年度の図書館活動運営方針等の説明を受けた。

①20年度利用状況

- ・開館日数 本館296日、移動図書館 60日
- ・利用者数 9919人
- ・貸出数 48447冊
- ・予約、リクエストの状況 予約冊数 552冊、リクエスト冊数 143冊
- ・利用登録者数の状況 1543人

②図書の蔵書状況

- 平成19年度末 69625冊
- 平成20年度末 71984冊
- ※文学(29・2%)、児童書(37・8%)の構成割合が高い。

③21年度図書館活動運営方針

蔵書の充実を図るとともに、特色ある図書館づくりを目指す。図書館サークルの育成と移動図書館及び移動文庫等による図書サービスの充実を図り、児童・生徒をはじめ地域住民の読書活動の普及に努める。

④21年度の重点目標

- ・ブックスタート事業の推進
- ・移動図書館オリエンテーション(小学校新入生)
- ・図書貸出冊数の増進
- ・「朝の読書」、「学級訪問おはなし会」、「インターンシップ(職場体験)」等、学校との連携
- ・レファレンスサービス(利用者の研究や調査援助)の充実



運営状況を視察(町立図書館)

委員から、廊下にも書棚が置かれているなど手狭な環境にあり、増築を検討できないかとの質疑があった。これに対し教育委員会からは、現在策定中の第5次まちづくり計画案で検討したいとの説明があった。

また、町立図書館は長年の子どもの読書活動が評価され、本年度の文部科学大臣表彰を受けた。図書館の運営に携わってきた関係者のこれまでの努力に敬意を表するものである。

新型インフルエンザ対策について

①町の対策

- 【4月】
 - ・町新型インフルエンザ対策連絡会議開催
 - ・町立病院院内会議開催

【5月】

- ・十勝港保安委員会開催
- ・町新型インフルエンザ対策連絡会議開催
- ・病院、健康センターに「発熱外来」設置検討
- ・保健福祉課、社協「新型インフルエンザ対策打合せ会議」開催
- 【6月】
 - ・役場庁舎に消毒液設置、マスク準備

②国の主な対策

- ・「医療の確保、検疫等に関する運用指針」の改定(6月19日厚生労働省)

- ・感染症指定医療機関での入院措置を原則取止め、自宅療養。また、一般医療機関でも入院可。
- ・発熱外来に限定せず、すべての医療機関で受診可。

③北海道の主な対策

- ・陽性と診断されても、症状が軽症の場合は自宅療養。
- ・医師の指示等に従い、外出を自粛し自宅療養。

委員から、町内で発症者が出た場合に、治療薬のタミフル、リレンザの在庫、確保はどうかとの質疑があった。

町からは、町立病院及び町内薬局に備蓄があり、町内で発生した場合においても直ぐに入手できる状況にあるとの説明があった。

産業常任委員会



所管事務調査の経過と結果

マツカワ栽培漁業の現況について

開催日 平成21年7月30日・
8月6～7日

②マツカワの種苗生産と稚魚
放流の概要

①北海道栽培漁業伊達センター
の概要

伊達センターは、北海道が施設整備を行い社団法人北海道栽培漁業振興公社が北海道から貸与を受け、北海道栽培漁業運営基金の運用益などにより管理運営している。21年度の運営費は、9700万円。伊達センターは、えりも以西太平洋海域の広域的栽培対象魚種であるマツカワの種苗生産施設の拠点として整備され、種苗生産と中間育成が行われている。また、えりも町にサブセンターが整備され、中間育成が行われている。



道栽培漁業伊達センター

伊達センターでは毎年3月頃から採卵作業、ふ化後の種苗生産が開始される。種苗として体長30ミリに育った125万尾のうち、44万尾(35%)はえりもサブセンターに移され、伊達センターに残る81万尾とともに、8月上旬まで中間育成される。放流サイズの80ミリまで中間育成された約100万尾の稚魚は、えりも以西海域に放流され、およそ3年後には35センチ以上となって漁獲される。なお、20年度のえりも以西海域におけるマツカワ漁獲量は、全体で85839kg、漁獲金額は約8650万円となっている。

先進地における畜産施設等の整備状況について

①白老町内畜産農家での鉄鋼スラグ利用状況

白老町内の農家2か所を現地視察した。2か所とも白老牛(黒毛和種)の生産農家で、敷地及び家畜の運動場等に鉄鋼スラグを使用。また、以前は未利用だった湿地帯を草地として造成する際に、下盤にスラグを使用したところ、良好な結果が出ていた。



畜産農家を視察(白老町)

スラグを利用している農家敷地は粉塵の心配も無く、融雪時や雨天時の水はけも良いため泥濘化が防げる効果をはじめ、特に、高温下で生成されるスラグは滅菌性が高く、雑菌等の繁殖も防げることから牛の健康状態もよく、またスラグ自体の比熱の大きさら冬期間でも保温性があり、家畜にとって良い環境を与えることができるなど、導入効果に満足している。

なお、スラグ価格は通常の砂利と比べても安価で、また施工方法も特別なものではなく、砂利と同様に施工できることだった。

スラグは地元業者が本州の製鉄会社から購入しており、町内で使われ始めた平成15年度以降、昨年度までに累計で約48万トンが白老港に陸揚げされている。

②他のスラグ利用状況

町内では農家のほかに、木材会社の原木置き場でもスラグが使われている。ここでは、従前泥濘化による周辺道路の汚損などに苦慮していたが、スラグを路盤材として使用した結果、泥濘化も解消され、同時に固く締まった置き場内の作業効率も向上したとの説明を受けた。

議 会 日 誌

【9月】

- 1日 タグボート新造船安全祈願祭
- 7日 議会運営委員会
- 8日 広尾市街地敬老会
- 9日 帯広市議会主催議員研修会（帯広市）
- 10日 第3回町議会定例会（～16日）
- 11日 石川衆議院議員を励ます会（帯広市）
- 13日 福祉まつり・高齢者芸能発表会
- 15日 特老・養護・支援ハウス合同敬老会
議会運営委員会
- 20日 開町記念式典
十勝神社秋季例大祭・宵宮祭
- 21日 十勝神社秋季例大祭・本祭
- 24日 南十勝消防事務組合議会臨時会（広尾町）
- 26日 鈴木衆議院議員を励ます会（帯広市）

【10月】

- 2日 十勝毎日新聞社創刊90周年記念式典
（帯広市）
- 5日 決算審査特別委員会（～7日）
議員協議会
- 8日 十勝町村議会議員研修会（幕別町）
- 20日 産業常任委員会
- 24日 サンタランドツリ一点灯式
- 27日 総務常任委員会行政視察調査（～28日・剣
淵町、和寒町、旭川市）
- 30日 十勝圏複合事務組合・十勝環境複合事務組
合議会（帯広市）

【11月】

- 6日 総務常任委員会
- 7日 東京広尾会（～8日・東京都）
- 10日 町村議会議長全国大会及び都内行政視察
（～12日・東京都）
- 11日 雪印大樹工場地域懇談会（大樹町）
- 17日 標津町議会行政視察来町
- 20日 議会広報特別委員会
- 26日 議会運営委員会

閉会中の所管事務調査

各常任委員会と議会運営委員会は、第4回定例会までの閉会中に、次の所管事務調査を実施します。

◇総務常任委員会

- ①自主・自立推進プランの見直しについて
- ②先進地における図書館の運営状況について

◇産業常任委員会

- ①町道の除排雪計画について
- ②飼料コンビナート建設の進ちょく状況について

◇議会運営委員会

- ①議会の運営に関する事項について
- ②議会の会議規則、委員会条例等に関する事項について
- ③議長の諮問に関する事項について

請願・陳情の提出について

請願（陳情）とは、国や道、町に対し希望や要望をすることで、憲法や地方自治法に規定された住民の権利です。

私たちの町を住みよい町にするために請願（陳情）書をご利用ください。詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

書式例

請 願 書（陳情）	
平成 年 月 日	
広尾町議会議長 様	
住所	
氏名（又は法人名、代表者）	
紹介議員（陳情は必要なし）	
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇について	
請願事項（要望を簡潔に）	
請願趣旨（理由のみ）	

編集後記

大丸山のイルミネーションは寒さと共に輝きを増し、街なかの各家庭でも工夫を凝らした灯りがクリスマスモードを盛り上げる季節となりました。2009年も目まぐるしく過ぎ去ろうとしています。

政権交代の変革の中で地方自治体の実力が試される時かもしれません。

今回の議会広報は、9月の第3回定例会での一般質問を中心に編集しました。質問者は4人で、紙面にてその質問の内容を掲載しています。

議会の様子は極力詳細にと心がけてはいますが、町民の皆さんが傍聴に足を運んでいただき、町政に関心を持っていただくことが議会の活性化につながるものだと思います。

ご意見、ご希望をお寄せください。

議会広報特別委員会
委員長 渡辺富久馬